

資料3

平成23年11月定例会(付託)
総務委員会資料
(監察局)

オンリーワン徳島行動計画(第二幕) 評価結果概要(案)

平成23年12月

県政運営評価戦略会議
(監察局)

はじめに

今まで、県政の運営指針であるオンリーワン徳島行動計画の計画推進から評価まで担っていた徳島県総合計画審議会の評価部門を切り分けるとともに、「県民目線からのチェック機能の強化」と「県民意見の県政への積極的な反映」を図ることを目的として新たに県政運営評価戦略会議が平成23年10月に発足いたしました。

この戦略会議の今回の評価は、計画期間が平成19年～22年のオンリーワン徳島行動計画（第二幕）の総括評価を平成23年10月17日から11月8日にかけて、行動計画の「オープンとくしま」の実現から「“にぎわい”とくしま」の実現までの7つの基本目標毎に順次会議を開催し、行動計画の全ての主要事業について評価を行いました。

また、「県民意見の県政への積極的な反映」を図るため、去る7月からスタートした「とくしま目安箱」をはじめ、新たな知事対話事業である「わくわくトーク」や「知事・市町村長会議」でいただいた政策推進に係る積極的な意見や提言をこの戦略会議で審議し、「県民からの優れた意見・提言」として採択いたしました。

これらの評価結果等については、速やかに徳島県総合計画審議会に提言し、「既存事業の見直し」、「新たな施策・事業の展開」、「徳島発の政策提言」などに繋げていただきたいと考えております。

1 会議の開催状況等

(1) 評価対象

オンリーワン徳島行動計画（第二幕）の総括評価

(2) 会議の開催状況

- ①平成23年10月17日 基本目標4「安全・安心とくしま」の実現
- ②平成23年10月25日 基本目標3「環境首都とくしま」の実現
- ③平成23年10月27日 基本目標7「“にぎわい”とくしま」の実現
- ④平成23年11月1日 基本目標1「オープンとくしま」の実現
- ⑤平成23年11月1日 基本目標5「“まなびや”とくしま」の実現
- ⑥平成23年11月8日 基本目標6「“みんなが”とくしま」の実現
- ⑦平成23年11月8日 基本目標2「経済飛躍とくしま」の実現

2 具体的な評価方法（基準）

オンリーワン徳島行動計画の主要事業608事業とその数値目標635項目について、県民目線に立った評価を行いました。

（1）数値目標の評価

計画期間の4年間の数値目標の達成度で評価を行いました。

【基準】

100%以上達成	A（達成）
100%未満80%以上達成	B（ほぼ達成）
80%未満	C（未達成）
実績値なし	—

（2）主要事業の評価

県民目線を念頭に、数値目標での成果も踏まえ、総合的に評価を行いました。

【基準】

- A：成果が上がっている。
- B：相当程度成果がある。
- C：成果不足。

3 「県民からの優れた意見・提言」の採択

「とくしま目安箱」に寄せられた意見をはじめ、新たな知事対話事業である「わくわくトーク」などの政策推進に係る意見や提言を審議し、「県民からの優れた意見・提言」として採択しました。

4 評価結果等の提言

徳島県総合計画審議会へ評価結果及び「県民からの優れた意見・提言」を提言し、

- ・既存事業の見直し
- ・新たな施策・事業の展開
- ・徳島発の政策提言

に繋げていただきたいと考えております。

県政運営評価戦略会議 委員名簿

(平成23年10月17日現在)

	氏 名	現 職 等
1	あべ よりたか 阿部 頼孝	徳島文理大学 徳島文理大学短期大学部 教授
2	いしだ かずゆき ○ 石田 和之	徳島大学大学院 准教授
3	いせき かほり 井関 佳穂理	公認会計士
4	こんどう あきこ 近藤 明子	四国大学 助教
5	さたけ ひろむ 佐竹 弘	徳島大学 産学官連携推進部 副部長
6	たかはた ふじこ 高畑 富士子	AWAおんなあきんど塾 会員
7	たむら こういち 田村 耕一	徳島経済研究所 専務理事
8	とさ かずえ 土佐 和恵	松茂農業協同組合 女性部長
9	にった まさこ 新田 正子	東みよし町文化協会 顧問
10	はしもと のぶこ 橋本 延子	女性林業研究グループ「那賀川こまち」 会長
11	はまぐち しんいち 浜口 伸一	(株)ハマグチ 代表取締役
12	はまぐち ひでよ 濱口 英代	和田島漁業協同組合 参事
13	もりた ようこ ◎ 森田 陽子	徳島文理大学 教授
14	もりもと たけお 森本 長生	(株)道の駅日和佐 駅長

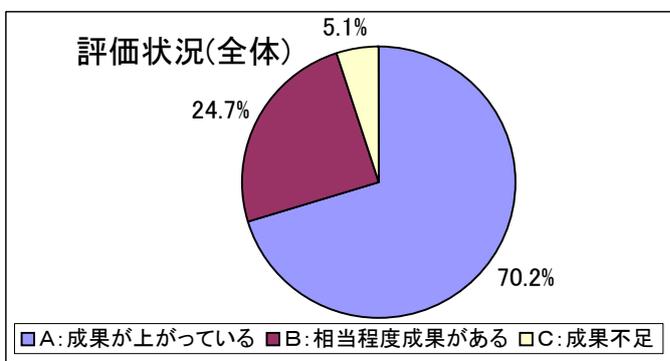
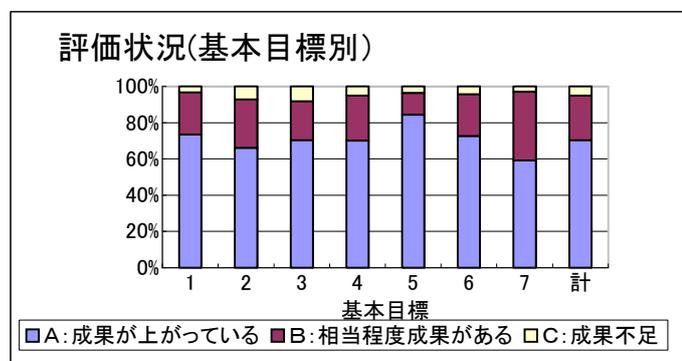
注：◎ は 会長、○ は 副会長 です。

平成23年度 県政運営評価戦略会議
「オンリーワン徳島行動計画（第二幕）」
基本目標別 主要事業の評価結果集計表

県政運営評価戦略会議では、「数値目標」の達成度の評価を行った上で、それらを包括する「主要事業」についての評価を行いました。計画最終年度となる平成22年度版計画では、608の「主要事業」があり、その評価の集計結果は次のとおりとなりました。

●主要事業の評価結果について

基本目標		1	2	3	4	5	6	7	計（比率）
		「オープンとくしま」の実現	「経済飛躍とくしま」の実現	「環境首都とくしま」の実現	「安全・安心とくしま」の実現	「まなびや」とくしまの実現	「みんなが」とくしまの実現	「にぎわい」とくしまの実現	
主要事業	A 成果が上がっている	44	64	59	82	70	50	58	427 (70.2%)
	B 相当程度成果がある	14	26	18	29	10	16	37	150 (24.7%)
	C 成果不足	2	7	7	6	3	3	3	31 (5.1%)
	合計	60	97	84	117	83	69	98	608 (100.0%)



【参考1】 目標水準・数値目標の評価結果について（第二幕）

基本目標		1	2	3	4	5	6	7	計（比率）
		「オープンとくしま」の実現	「経済飛躍とくしま」の実現	「環境首都とくしま」の実現	「安全・安心とくしま」の実現	「まなびや」とくしまの実現	「みんなが」とくしまの実現	「にぎわい」とくしまの実現	
目標水準・数値目標	A 達成	47	72	64	102	62	49	80	476 (75.2%)
	B ほぼ達成	1	14	10	16	7	8	12	68 (10.7%)
	C 未達成	4	25	15	11	6	11	17	89 (14.1%)
	小計	52	111	89	129	75	68	109	633 (100.0%)
	実績値未判明	0	0	0	1	0	0	1	2
	合計	52	111	89	130	75	68	110	635

【参考2】 目標水準・数値目標の評価結果について（前回平成19年度）

基本目標		1	2	3	4	5	6	7	計（比率）
		「オープンとくしま」の実現	「経済再生とくしま」の実現	「環境首都とくしま」の実現	「安全・安心とくしま」の実現	「いやしの国とくしま」の実現	「ユニバーサルとくしま」の実現	「にぎわい」とくしまの実現	
目標水準・数値目標	達成	15	39	57	64	48	42	32	297 (74.0%)
	ほぼ達成	2	17	14	13	3	11	16	76 (19.0%)
	未達成	0	10	0	6	1	5	6	28 (7.0%)
	小計	17	66	71	83	52	58	54	401 (100.0%)
	実績値未判明	0	4	3	3	0	0	4	14
	合計	17	70	74	86	52	58	58	415

オンリーワン徳島行動計画（第二幕）

基本目標別 主な評価と意見(抜粋)

基本目標1 オープンとくしまの実現について

項目	主要事業	評価	評価意見
1	<p>〔 1-1 オープンとくしま体制づくり 〕</p> <p>「情報提供施策の推進に関する要綱」に基づき県が保有する情報を積極的に提供するとともに、個人情報保護しつつ、徹底した情報公開を行うことにより、県民の県政への参加を推進します。</p>	A	<p>県民がこの要綱に基づく公表情報を積極的に活用できるよう、県庁1階の県民サービスセンターでの閲覧やホームページで公表するとともに、個別の公開請求に対しては原則公開の立場で、積極的な公開を実施している。成果としては、知事部局の情報公開度ランキングが4年連続全国1位ということで、結果も出ているのでA評価とした。</p>
2	<p>〔 1-4 共感と協働による地域づくり 〕</p> <p>とくしま県民活動プラザを拠点として、官民協働の推進に向け、県民による社会貢献活動に対する総合的な支援を行います。</p>	A	<p>「とくしま県民活動プラザ」サテライト・オフィスの設置、同プラザの利用者数、NPO法人数、ボランティア・アドプト登録人口は、いずれも数値目標を達成し、県民による社会貢献活動を総合的に支援されていることからA評価とした。</p>
3	<p>〔 1-6 行財政の構造改革の推進 〕</p> <p>「真の地方分権時代」にふさわしい財政構造への転換を進め、将来にわたり安定的な県民サービスを提供できるよう、新しい財政健全化の方策を提示するなど、財政改革をさらに加速させます。</p>	B	<p>財政構造改革の取り組みにより、長年にわたって累増してきた県債残高を減少に転じさせるなどの成果があり、数値目標（県債残高の減少、公債費（対前年のび）など）はA評価とした。しかし、依然として実質公債費比率が高く、起債許可団体から脱していない厳しい状況に変わりはないため、主要事業についてはB評価とする。</p>
4	<p>〔 1-3 公正で公平な県政づくり 〕</p> <p>公平・公正な職務執行の確保を図るため、「監察局」の設置や「コンプライアンス基本方針」の策定等を行い、「職員倫理意識の徹底」、「内部チェック機能の充実強化」を図ります。</p>	C	<p>平成20年に職員の不祥事が多発したことから、組織の隅々まで倫理意識を浸透させ、内部牽制機能を強化するため平成20年12月に「監察局」を新設し、各部局長を本部員とする「コンプライアンス統括本部」、各部局に「コンプライアンス推進責任者」などを置き、全庁を挙げてコンプライアンスの推進に向けた研修や業務・職場改善など様々な取り組みが行われている。</p> <p>しかし、最近になって県立中央病院職員の一連の不祥事が起こり、県民の信頼を損なう結果となったことは大変残念である。県職員には、勤務する場に関わらず県民の模範として期待されており、より高い倫理意識が求められる。県民目線からは成果不足と言わざるを得ず、評価はCとした。今後、不祥事根絶に向け、さらなる取り組みの強化を図っていただきたい。</p>

【その他の主な意見】

- パブリックコメント制度の推進による県民の意見反映を積極的に進めていただきたい。
- アドプトプログラムは、団体を作るのが目標ではなく、道路の清掃などを行うことが目標なので、参加団体数のみを目標とするのはどうかと思う。

基本目標2 経済飛躍とくしまの実現について

項目	主要事業	評価	評価意見
1	<p>〔2-1 経済飛躍とくしま体制づくり〕</p> <p>本県経済を下支えするとともに、経済飛躍への芽を育むため、頑張る事業者の支援態勢を強化するとともに、雇用効果の高い実需の喚起を推進します。</p>	A	<p>中小企業者の資金繰り支援のための「セーフティネット資金」や「経済変動対策資金」の融資対象や融資枠の拡大、雇用創出のための緊急雇用創出事業や雇用関連サービスをワンストップで提供する「とくしまジョブステーション」の設置など、中小企業の支援や雇用の下支えをしっかりと行っている。</p> <p>また、「新鮮とくしまブランド戦略」については、「とくしまブランド協力店」を30店舗登録するとともに、「新鮮なっ！とくしま」号も地球2周半にあたる10万キロを走破した。</p> <p>さらに、「林業飛躍プロジェクト」では、「森林整備加速化・林業飛躍基金」を造成し、間伐や木材加工施設の整備などの支援を行っている。</p> <p>これらの結果、本県の22年度の失業率は、国平均よりも0.4ポイント低い4.7%、有効求人倍率は、国平均より高い0.69倍、全国第4位と成果を上げているため、A評価とした。</p>
2	<p>〔2-3 時代を先取るとくしま産業づくり〕</p> <p>「LEDバレイ構想」の実現を図るため、構想・行動計画に基づき、市場のニーズを踏まえたデザイン力のある商品化支援をはじめ、国内主要見本市への出展支援による販路拡大等を図るとともに、「LED王国・徳島」としてのブランド化を促進するなど、各種事業を積極的に展開します。</p>	A	<p>世界有数のLEDメーカーが立地する優位性を活かし、LED関連企業100社集積を達成すると共に、関連製品の売り上げや関連事業での雇用の創出などで非常に成果が上がっている。A評価とした。</p>
3	<p>〔2-5 新たな雇用と働きやすさとくしまづくり〕</p> <p>若年者、Uターン等希望者、中高年齢者の就業を総合的に支援するため、雇用関連サービスをワンストップで提供する「とくしまジョブステーション」を設置し、求人情報の提供や職業相談等を実施します。</p>	B	<p>とくしまジョブステーションを活用したUターン等希望者、中高年齢者の就職件数は、わずかではあるが目標に達していない。しかしながら、若年者、Uターン等希望者、中高年齢者の就業を併設しているハローワークと連携して、ワンストップサービスで支援し、若年者の就業者数等相当成果も上がっており、B評価とした。</p>
4	<p>〔2-1 経済飛躍とくしま体制づくり〕</p> <p>地域の農林水産業の振興に大きな役割を担う関係団体の合併等を推進し、機能強化を図ります。</p>	C	<p>農協や森林組合、漁協の合併は、規模の拡大による効率化を図ると共に、特に小規模組合においては組合員の高齢化が進むなど、存続さえ危ぶまれる組合もあると聞いている。行政が強力に指導して、合併を進めていく必要があると考える。</p> <p>しかし、あくまでも主体的な合併ということなので、組合間の利害関係の調整、環境整備などの関係者の方は大変苦労されていると思われるが、この4年間の実績は、漁協の1合併以外は成果が上がっていない状況である。厳しいながらC評価とした。</p>

【その他の主な意見】

- 1 LED事業を継続的に地域に根を生やしていくには、人材育成が必要不可欠でないかと思う。
- 2 徳島の経済が飛躍しているかどうか一番端的に分かるのは、県内総生産や県内雇用者数などの動向であり、タイムラグをおかずにフォローできるのであれば、目標数字においてやっていったらいいと思う。

基本目標3 環境首都とくしまの実現について

項目	主要事業	評価	評価意見
1	<p>〔3-2 地球環境にやさしい社会づくり〕</p> <p>面的広がりを持った新エネルギー・省エネルギー対策を促進するため、地域における設備導入に向けた取り組みを推進します。</p>	A	<p>平成22年に「とくしま環境県民会議」において「クリーンエネルギー推進チーム」などを設置し、再生可能エネルギーの利用可能性について検討がなされるとともに、小水力発電やバイオマス利用について、上勝町をはじめ6市町村において地域の特性を活かした実証実験を実施し、設備導入に向けた取り組みがなされている。</p> <p>福島原発事故によりクリーンエネルギーが見直されており、県民の期待も高い事業であるので、今まで以上の取り組みをお願いしたい。</p>
2	<p>〔3-4 しっかり守るいい生活環境づくり〕</p> <p>化学肥料・化学農薬の使用低減や施設園芸等の省エネ・省コスト・省CO2技術の導入に取り組む生産者を育成・支援します。</p>	A	<p>「新鮮なっ！とくしま号」を活用したPRや有機農業などの生産者とバイヤーのマッチングフェアを開催するなど、環境への負荷が少ない「持続性の高い農業生産方式」の導入に取り組むエコファーマーの育成に地道に努力しており、数値目標も平成21年に1,400人から1,600人に上方修正されて積極的に取り組んでいるため、A評価とした。</p>
3	<p>〔3-7 未来を守るとくしま森林づくり〕</p> <p>山の境界保全を進め、適切な森林管理・保全に向けた活動を支援します。</p>	B	<p>地籍調査については、数値目標である「着手市町村」もさることながら、実際の山での境界保全がどれくらい出来ているかが重要だと思われる。地道で手間のかかる業務であり、市町村事業であるため難しいところもあるが、適切な森林管理・保全に向けて、事業の支援をお願いしたい。</p>
4	<p>〔3-3 美しく潤いのあるとくしまづくり〕</p> <p>全国に誇れる「徳島きれいな水環境」の創造に向け、各種施策を推進します。</p>	C	<p>数値目標である「汚水処理人口普及率」は平成22年度実績が49.4%であり、目標の48%を超えている。汚水処理については、下水道、集落排水、合併浄化槽の3つの事業により、きれいな水環境を創っているところであるが、平成22年度においても汚水処理人口普及率の全国順位は最下位なのでC評価とした。</p>
5	<p>〔3-6 自然との共生とくしまづくり〕</p> <p>野生鳥獣と人との共生を図るため、保護管理を推進します。</p>	C	<p>10月19日の新聞報道によると、平成22年度の野生鳥獣による農作物被害総額は、前年度比52%増の1億5千万円余りであった。これは、野生鳥獣と人とのバランスが大きく崩れているためではないかと思われる。</p>
6	<p>農業生産活動を促進するためイノシシ・サルなどの鳥獣被害対策を総合的に進めます。</p>	C	<p>「新規狩猟者の確保」は、共生のバランスを保つための重要な数値目標であるが十分な確保が図られていない。</p> <p>「生態系に配慮した鳥獣被害防止対策」と合わせてC評価とした。</p>

【その他の主な意見】

- 1 「環境首都とくしま」の実現を標榜するのであれば、リサイクル率とか自然エネルギーなどの利用率が全国平均よりも高いとか、又は、そういう数字が何年後に実現できるように目指してほしい。
- 2 評価の判断材料として、費用対効果がわかる事業の計画があればと思う。

基本目標4 安全・安心とくしまの実現について

項目	主要事業	評価	評価意見
1	<p>〔4-1 安全・安心とくしま体制づくり〕</p> <p>警察や自衛隊をはじめライフライン関係事業者等との連携を強化します。</p>	A	<p>深夜でも会議を開催し、新型インフルエンザや口蹄疫など危機事象に迅速に対応していることは、報道等により周知のことである。</p> <p>ライフライン関係者との連携について、警察や自衛隊関係者も含めた体制に改組し、連携の強化を図っている。</p>
2	<p>〔4-4 とくしま食の安全安心ブランドの推進〕</p> <p>産地偽装など不適正表示の未然防止と県産ブランドの維持・育成のため、消費者への情報提供の徹底や監視システムの強化、検査体制の充実などを総合的に推進します。</p>	A	<p>度重なるわかめの産地偽装などにより、食の安全安心に対する検査体制について県民の関心は高い。ここ2年の鳴門わかめの産地偽装は、監視システムの強化や科学的な調査手法によって発覚し、公表されたものと伺っている。今後も県産ブランドの維持・育成のため、しっかりした監視・検査体制を構築していただきたい。</p>
3	<p>〔4-2 とくしまー0（ゼロ）作戦の展開〕</p> <p>市町村が実施する自主防災組織の活動支援事業に対し補助を行うとともに、地域防災推進員を養成するなど地域防災力の強化・促進を図ります。</p>	B	<p>地域防災推進員養成研修会や寄り合い防災講座を頻繁に開催し、住民の防災意識向上に努めている。</p> <p>着実に自主防災組織率(平成22年度87%)は向上しているものの、自主防災組織は、地震や津波対策の現場での要となるため、市町村と連携し、早期に目標(100%)を達成していただきたい。</p>
4	<p>〔4-2 とくしまー0（ゼロ）作戦の展開〕</p> <p>災害時において防災拠点等となる県の施設等について、耐震化計画に基づき計画的に耐震化を進めます。</p> <p>また、災害時医療の拠点となる災害拠点病院の整備を進めるとともに、災害拠点病院等における医療救護班の体制整備を進め、医療救護体制の向上を図ります。</p>	B	<p>防災拠点施設の耐震化のうちで、県立高校は73%(目標75%、平成19年度45%)、市町村立小・中学校は77%(目標75%、平成19年度48%)と、近年、整備率は大きく伸びてきている。予算の関係もあると思うが、地域の避難施設の拠点となる学校、また子供の安心・安全を考えると、特に小・中学校の耐震化率については、100%を目指し、早期に完了していただきたい。</p> <p>また、DMATについては、東日本大震災において被災地の医療支援に大きく貢献し、高く評価したい。</p>
5	<p>〔4-6 みんなでつくろう！健康とくしまづくり〕</p> <p>糖尿病緊急事態宣言を受け、県民一人ひとりの主体的な健康づくりを支援する「みんなでつくろう！健康とくしま県民会議」を中心とした、県民総ぐるみの健康づくり運動を推進すること等により、糖尿病の死亡率が高い本県の状況改善を図ります。</p>	C	<p>糖尿病対策については、県を挙げてその対策に取り組まれていると思うが、粗死亡率は依然として全国最下位である。</p> <p>県民目線から見ると、隣県の高知県や香川県と生活習慣がどこが違うのかよくわからないところである。</p> <p>健康とくしま応援団や阿波踊り体操などの取り組みも行われているが、県民目線から見ると、成果不足と言わざるを得ない。原因究明やいろいろな手段を講じて早期の最下位脱却をお願いしたい。</p>

【その他の主な意見】

- 各民間の事業所における避難場所やルートを義務づけるルールのようなものをもう少し踏み込んでやってほしい。
- 関西広域連合の一員としてやられる施策等もこれからどんどん出てくると思うので、たくさんある事業や計画の中でどの部分がそうなのかわかるようにしてほしい。

基本目標5 “まなびや、とくしまの実現について

項目	主要事業	評価	評価意見
1	<p>〔5-1 “まなびや、とくしま体制づくり〕</p> <p>次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される社会の形成を目指し、集中的・計画的な取り組みを着実に推進するとともに、「後期行動計画」を策定します。</p>	A	<p>徳島はぐくみプランの計画期間は、平成17年から10年間であり、前期計画は平成17年から21年まで、後期計画は平成22年から26年までとなる。</p> <p>前期計画の成果としては、少子化対策の大きな柱である出生率について、平成21年度までは全国平均を下回っていたのが、平成22年度には、1.40と全国平均の1.39を上回るなど着実な成果が上がってきたため、A評価とした。</p>
2	<p>〔5-2 未来に「はばたく力」育むとくしま教育づくり〕</p> <p>小中学校において、各学年等の特性に応じ、少人数学級編制を実施するとともに、少人数グループ指導やチームティーチング指導のための教員配置を行います。</p>	A	<p>全ての小学校1・2年で35人学級、また、平成20年度より、全ての中学校1年生で同じく35人学級を導入するとともに、小学校4年生から6年生及び中学の全学年で25人以上の学級を有する学校に追加教員を配置することにより、指導の充実が図られていると思う。A評価とした。</p>
3	<p>〔5-4 学び立県とくしまづくり〕</p> <p>「徳島県立総合大学校(まなびーあ徳島)」を創設し、県が実施する講座や施設の情報提供をワンストップで行うとともに、高等教育機関や企業、NPO、住民、市町村など多様な主体とのパートナーシップによる運営を行い、学習機会のさらなる充実を図るなど、県民のニーズに応じた学習を総合的に支援します。</p>	A	<p>まなびーあ徳島は、県の専門学校やシルバ一大学校、消費者大学など、講座としてこれまで運用していたのを横断的に連携・充実させ、ワンストップサービスで情報提供を行うことで、学習内容の総合性や利便性の向上が図られ、県民のニーズに応じた学習を総合的に支援しているためA評価とした。</p>
4	<p>〔5-6 子どもを育てるなら“とくしま、づくり〕</p> <p>子育てをしている家庭にとってニーズの高い一時・特定保育などの保育サービスの拡充を図ります。</p>	B	<p>子育てを支援する上で、預かり保育の充実は非常に重要な施策である。保護者や地域のニーズに合った取り組みをこれまで以上に進めていただきたい。実施市町村数は19市町村と未達成だが、都市部においては整備が完了していることから、B評価とした。</p>
5	<p>〔5-2 未来に「はばたく力」育むとくしま教育づくり〕</p> <p>全県を通じた読書活動として、「読書の生活化プロジェクト」を実施するなど、読書習慣の定着を図ります。</p>	C	<p>全国的にテレビゲームで家に閉じこもりがちな、特に小学生に、文学のすばらしさや歴史のおもしろさ、科学に対する興味など、まさに児童の教養や人格を形成する上で、取り組みとして読書習慣を身につけさせることは教育として非常に重要であると認識している。</p> <p>そういう意味でも、数値目標390(家などで1日10分以上本を読む児童生徒の割合)の結果は残念であると言わざるを得ず、C評価とした。今後は、父兄ともしっかりと連携して、1日10分と言わず、読書の習慣を身につけさせる教育を推進していただきたい。</p>

【その他の主な意見】

- 1 学校の耐震化について、予算の関係もあろうかと思いますが、子供の安全安心を考えれば数値目標を75%に設定するのはどうかと思うので、目標設定の仕方について充分検討してほしい。
- 2 子供の学力向上を目指すのであれば、教える教職員もやはり当然能力を上げなくてはいけないと思うので、今後そういう目標を設定する必要があるのではないかと思う。

基本目標6 “みんなが、とくしまの実現について

項目	主要事業	評価	評価意見
1	<p>〔6-1 “みんなが、とくしま体制づくり〕</p> <p>新しい「徳島県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画（とくしま長寿プラン）」を策定し、豊かな長寿社会づくりのため高齢者施策を推進します。</p>	A	<p>「人生三桁時代」の到来も身近に感じられ、これからは「支えられる存在」から「社会を元気にする存在」を目指した社会づくりが求められる。</p> <p>こうした背景から、生涯にわたり健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる「豊かな長寿社会づくり」を目指した新たな「とくしま長寿プラン（平成21年～23年）」が策定され、シルバー大学校・大学院における学習機会の提供を始めとする高齢者の生きがいづくりや健康づくりとともに、ニーズに応じた介護サービスの提供が行われるなど、順調に推進されている。A評価とした。</p>
2	<p>〔6-2 男女共同参画立県とくしまづくり〕</p> <p>「男女共同参画交流センター」を核として、総合的かつ計画的に男女共同参画を進めます。</p>	A	<p>男女共同参画交流センター（フレアとくしま）において「フレアとくしま100講座」と題した各種講座や講演会、相談業務など多くの県民が利用している。A評価とした。</p>
3	<p>〔6-4 障害者「自立と社会参加」のとくしまづくり〕</p> <p>障害者の働く意欲と能力に応じて働ける社会づくりを推進するため、就労訓練施設の生産品の販路拡大などによる就労支援機能の強化により、施設利用者の工賃のアップを図り、自立支援を推進します。</p>	A	<p>数値目標（障害者施設利用者の工賃。平成22年度実績 19,115円）は、目標数値（約21,000円）に届かず、C評価とする。しかしながら、障害者の方々が働く場である授産施設（就労施設）等の製品の販路拡大を図られ、工賃が平成20年度、21年度については全国3位と立派な順位にある。総合評価はAとした。</p>
4	<p>〔6-7 活力みなぎるとくしまづくり〕</p> <p>耕作放棄地の防止や元気ある農山漁村づくりに向けた地域ぐるみの共同活動や中山間地域の集落協定により、農村集落や農地・農業用水の保全を推進します。</p>	B	<p>全国的な状況だが、高齢化等による耕作放棄地は年々増加の一途をたどり、平成22年には約4,400ヘクタール余りにもなっている。こうした中で、中山間地域の農業生産の維持等を図り、農業用水路の浚渫や農業用施設の補修など地域ぐるみで共同して実施されている。B評価とする。</p>
5	<p>〔6-5 共助・共生のまちづくり〕</p> <p>障害者のコミュニケーション手段を確保するため、手話・点訳等の専門的知識・技能を有する各種ボランティアの育成や県民への理解と普及を促進します。</p>	C	<p>聴覚障害の方々が、安心して暮らせる社会を実現するためには、コミュニケーション手段を確保する必要があると思われる。そのため、必要な手話通訳者の確保が欠かせない。手話通訳者のスキルアップ研修など手話の資質向上に取り組まれ、これも大事な事だと思うが、まずある程度的人数が必要である。数値目標の「県登録手話通訳者数」は目標に大きく届いていないため、厳しいながらC評価とした。</p>

【その他の主な意見】

- 1 移住・交流の促進について、移住交流センターの設置が目標となっているが、それよりもソフト的なサポートやサービスが重要なポイントと思う。
- 2 審議会等委員への女性登用については、既に徳島県は全国1位という高い率なので、これからは、比率あわせで登用するより、審議の活発化という観点に軸足を置くべきだと思う。

基本目標7 “にぎわい、とくしまの実現について

項目	主要事業	評価	評価意見
1	<p>〔7-2 交流ひろがるとくしまづくり〕</p> <p>「徳島空港新時代」の広域交通ネットワークの形成に向けて、徳島飛行場の滑走路拡張（2,500m化）を促進します。</p>	A	<p>滑走路が拡張された徳島阿波おどり空港が供用され、東京便が平成22年10月から従来のJALに加えANAが参入してダブルトラック化が実現し、競争の原理により県民にとって利便性が向上した。よってA評価とする。</p>
2	<p>〔7-4 笑顔と活気あふれるとくしまづくり〕</p> <p>にぎわいを創出するため、他県から多くの人が集まる大会・会議を誘致・開催します。</p>	A	<p>第22回国民文化祭・とくしま2007（おどる国民文化祭）をはじめとして、様々な全国大会等の誘致・開催を行った。</p> <p>また、大会や会議以外にも、「マチ☆アソビ」を徳島市中心市街地で平成21年から開催し、アニメの上演や作品の展示など、多くの人が集まるイベント等を積極的に開催し、にぎわいを創出していることからA評価とした。</p>
3	<p>〔7-6 文化立県とくしまづくり〕</p> <p>国民文化祭を開催し、「あわ文化」の創造を図ります。</p>	A	<p>平成19年に第22回国民文化祭（おどる国文祭）を開催し、県内外から77万人が来場し、県内の文化団体の活性化に繋がった。またこれを契機に、「文化立県とくしま推進基金」を創設し、あわ文化の4大モチーフである「阿波藍」、「阿波踊り」、「阿波人形浄瑠璃」、「第九」の全国発信事業を精力的に展開している。加えて、国民文化祭の成果を踏まえ、平成20年から県民の主体的な取り組みを促進する公募提案型の事業や市町村との連携による演奏会などの事業を盛り込んだ新たなスタイルの県民文化祭が開催され「あわ文化」の創造が図られていることから、A評価とした。</p>
4	<p>〔7-1 “にぎわい、とくしま体制づくり〕</p> <p>高速道路新料金を最大限活用し、徳島の経済の活性化やPRを行うため、「高速道路新料金活用戦略」に基づき、「県外からの観光誘客対策」及び「物流活性化による産業振興対策」を推進します。</p>	B	<p>大鳴門橋の通行台数、県外からの入り込み客数は、平成19年から倍増とチャレンジ精神に満ちた目標を掲げていたが、平成20年9月に起きたいわゆるリーマンショックにより日本経済が低迷した影響等で、高く掲げていた目標に大きく及ばなかったことはやむを得ないものと考えられる。</p> <p>主要事業については、普通車の土日祝日上限1,000円を最大限活用し、庁内にプロジェクトチームを発足させて精力的に県外客の誘致に努力されてきたことは一定の評価ができるので、B評価とした。</p>
5	<p>〔7-7 とくしまスポーツ王国づくり〕</p> <p>競技スポーツの重点強化による成果志向型の選手強化を図り、競技力の向上を進めます。</p>	C	<p>強化対象団体の絞り込みを行うとともに、新たな取り組みとして、競技得点の高い団体競技への強化費の重点配分などを行い努力したことは評価するが、今年の国体の順位は男女とも全国最下位であり、成果不足であると言わざるを得ない。従ってC評価とする。</p>

【その他の主な意見】

- 1 県内の小・中学校の遠足は極力県内にいけるようなローテーションを組んでいただくと観光関係の活性化に繋がるのではと思う。
- 2 経済環境等の大きな変化があれば、目標の変更を民間企業のように変えるべきだと思う。

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」

番号	基本目標	投稿方法	意見・提言の概要
1	「オープンとくしま」の実現	目安箱	○パブリックコメント制度の推進による県民の意見反映について パブリックコメントへの意見の提出件数の向上がみられないと聞きますが、これは、県が形式的に県民に意見を求めているためでは、ないかと思えます。 今後は、県民の意見反映のため、何か工夫が必要ではないかと思えます。
2	「経済飛躍とくしま」の実現	わくわくトーク	○徳島すざのブランド化 徳島すざをブランド化し、徳島すざの梁・桁を使った徳島すざの町並みができれば、PRできるのではないのでしょうか。
3	「環境首都とくしま」の実現	目安箱	○太陽光のエネルギー政策を 例えば、敷地面積の広い学校など、公共施設に太陽電池パネルを設置するなど、公共施設に「公金を使わない」「地域活性化に資する」方法で、太陽電池パネル導入方法を検討してみたいかでしょうか。
4	「環境首都とくしま」の実現	目安箱	○シカの食害について シカの食害については、国立公園内を含む個体調整が進んでいないように思えてなりません。効率の良い個体調整のあり方、捕獲したシカをどうするかなど、課題は沢山あると思いますが、県が関係市町村等との連携体制をとっていただきたい、是非ともこの問題を考えたいと思います。
5	「環境首都とくしま」の実現	わくわくトーク	○小水力発電について 原発が問題視される中、自然エネルギーを見直す時期がきているのではないのでしょうか。那賀町は、水が豊富なので、そうした水を利用する小水力発電を進めたいかでしょうか。
6	「安全・安心とくしま」の実現	わくわくトーク	○小・中学生のための避難路について これまで、小・中学生の大切な命を守るためには、学校の校舎の3階に避難すればよいということでしたが、東日本大震災以降、とにかく高台に上ろう、山の方に逃げようということになりました。 小・中学校から、すぐに高台に上られるよう、避難路を確保していただけないでしょうか。
7	「安全・安心とくしま」の実現	目安箱	○学校給食の食材の放射能測定について 原発事故後の汚染された食材が、子どもに及ぼすリスクは大人の何十倍とされています。そのような食材が、子どもたちの給食として提供されていないかを何より不安に思っております。 放射能計測器はとも個人では購入できない額なので、県や市町村が購入し計測することで、安心できる食材を提供していただきたいです。
8	「まなびや」とくしまの実現	目安箱	○県立図書館の年末年始の休館日について 県立図書館は、県庁本庁の年末年始の閉庁日より長く、この間、県民は県立図書館を利用することができず、生涯学習をする場所がありません。
9	「にぎわい」とくしまの実現	目安箱	○体験型観光のアイデアについて 最近の都会の若いお父さんやお母さん達は、体験する機会がなかったなどの理由で、虫採りやキャンプをしたことがない方も多いそうです。 そこで、「徳島へ昆虫採集やキャンプに来ませんか」と呼びかけ、自然の中でいろいろな体験をして、家族で楽しんでいただくという体験型観光はいかがでしょう。徳島には、昆虫採集の名人やキャンプの達人、魚取りの名人などカイド役にびったりの方達がたくさんいるのではないのでしょうか。
10	「にぎわい」とくしまの実現	わくわくトーク	○阿波人形浄瑠璃の振興について 阿波人形浄瑠璃の振興には、人材育成が大切ではないのでしょうか。小さな子どもから大人まで、阿波人形浄瑠璃と関わり続ける環境整備をお願いします。

注1：目安箱には、知事への提言・はがきを含みます。

注2：基本目標6「みんなが」とくしまの実現では、該当がありませんでした。